

ディス・イズ・アメリカ

「トランプ時代」のポップミュージック

高橋芳朗／著 TBSラジオ／編

2020年9月29日発売

Black Lives Matter、LGBTQ解放運動、#MeTooムーブメント
いま、アメリカのポップミュージックは何を歌っているのか？

TBSラジオの番組「ジェーン・スー 生活は踊る」「アフター6ジャンクション」「荻上チキ・Session-22」「荒川強啓デイ・キャッチ!」「ザ・トップ5」などの音楽特集からアメリカの政治的／社会的トピックに関連する解説を抜粋して再構成し、さらに音楽メディアに寄稿したコラムや評論、書き下ろしを加えて書籍化。激動する近年のアメリカ社会のなかでポップミュージックはなにを歌ってきたのか、2014年から2020年上半期までの動向を世界最高峰の音楽賞「グラミー賞」を軸にして時系列でまとめた1冊です。



【主な登場アーティスト】

テイラー・スウィフト、ビリー・アイリッシュ、アリアナ・グランデ、ビヨンセ、ケンドリック・ラマー、マドンナ、ブルース・スプリングスティーン、ジェイ・Z、リゾ、リル・ナズ・X、ザ・チェックス、ケイティ・ペリー、カーディ・B、デュア・リパ、ニール・ヤング ほか多数

■媒体概要

書名 : ディス・イズ・アメリカ
「トランプ時代」のポップミュージック
編著者 : 高橋芳朗／著 TBSラジオ／編

仕様 : 四六判並製 / 272 ページ
定価 : 1500 円 + 税
販売場所 : 全国書店、ネット書店にて

【TBSラジオ パーソナリティ推薦コメント】

「アメリカのポップミュージックが
なぜあれほど“強い”のか、その理由がよーくわかる名解説集！
読めば音楽がもっと好きになる」

ライムスター宇多丸

「音楽は、**支配される者たちの誇りを守る盾**であり、**不躰な攻撃を蹴散らす剣**だ。“いま我々が生きている時代を反映させることは、アーティストの責務である”というニーナ・シモンの言葉が忘れられない」

ジェーン・スー

「音楽と社会が、いかに響き合ってきたのか。
これを理解すれば、**あのミュージシャンがすごい理由も、
炎上する理由も分かってしまう。ああ、高校時代に読みたかった！」**

荻上チキ

【著者】高橋芳朗（たかはし・よしあき）

1969年生まれ、東京都港区出身。音楽雑誌の編集者を経てフリーの音楽ジャーナリスト／選曲家に。TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」「アフター6ジャンクション」「荻上チキ・Session-22」などに出演しているほか、国内外のアーティストのオフィシャル取材や公式ライナーノーツ執筆も担当。近著は『生活は踊る歌 TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」音楽コラム傑作選』（駒草出版）。

■お問い合わせ先

スモール出版（株式会社スモールライト）

担当：三浦修一

Tel：03-5338-2360

E-Mail：miura@small-light.com

※素材の提供や著者への取材など、対応させていただきます。